

第2期中期目標期間に係る業務実績報告の概要について

1. 評価の実施概要（評価委員会が定める実施要領による）

（1）評価の基本方針

- ① 法人の第2期中期目標の達成状況について確認する。
- ② 評価を通じて、法人の業務運営状況をわかりやすく社会に示す。
- ③ 第3期中期目標期間における法人の業務運営の改善・向上に資する。

（2）実施方法

法人が、「公立大学法人島根県立大学第2期中期目標期間（H25～H30年度）に係る業務実績報告書」（様式1）に基づき作成した業務実績報告書を評価委員会に提出し、評価委員会が、当該業務実績報告書及び法人への聴取等に基づき、調査・分析を行うとともに、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行い、業務実績評価書を作成することにより実施する。

（3）評価方法

① 項目別評価

- ・法人は、中期計画の小項目ごとに、実施状況、各年度の業務実績の評価結果及び進捗状況や成果を踏まえ、小項目ごとの達成状況を別表記載のAA～Dの5段階で自己評価するとともに、その根拠を記述。
- ・評価委員会は、中期計画の小項目ごとに法人の自己評価や取組みの記述内容などを総合的に判断して、AA～Dの5段階で評価を行うとともに、法人による自己評価と異なる場合には判断理由を示す。

評価	中期目標期間項目別評価の評価基準
AA	中期計画を上回って実施している。（中期計画の小項目の内容をすべて達成、特筆すべき効果がある）
A	中期計画を十分に実施している。（中期計画の小項目の内容の達成状況が9割以上）
B	中期計画を概ね実施している。（中期計画の小項目の内容の達成状況が7割以上9割未満）
C	中期計画を十分には実施していない。（中期計画の小項目の達成状況が5割以上7割未満）
D	中期計画を大幅に下回っている。（中期計画の小項目の内容の達成状況が5割未満）

② 全体評価

- ・業務実績報告書において、項目別評価の結果を踏まえて、記述式により総括的に自己評価を行う。
- ・評価にあたっては、中期目標大項目ごとの取組みの実績並びに未達成の取組みと今後の対応についても記述する。
- ・評価委員会は、「項目別評価」の結果及び法人の自己評価結果も踏まえて、評価委員会として記述式により総括的に評価を行う。

2. 業務実績報告書（案）全体評価の概要

別紙のとおり

3. 目標に対して未達成の取組みと今後の対応

【外部資金の獲得について】

浜田キャンパスにおいて、H28年度以降、目標金額の25,000千円を下回る結果となった。科研費公募説明会や各種外部資金の公募情報の提供のほか、H30年度より実施している科研費申請書個別支援サービスの導入、H31年度から学内競争的研究費において准教授～助手の教職員科研費獲得を支援する「若手支援枠」を設ける等により、外部資金の獲得に取り組んでいく。

【就職率について】

目標期間の6年間、概ね各キャンパスとも高い就職率を維持し続けることができた。一方、浜田キャンパス総合政策学部でのH30年度卒業生における県内就職率が法人化後初めて20%を割り込む結果となった。今後、全学的な入試制度改革に取り組み、県内高校生の入学率を増やす努力をしていく。また、県内企業への就職率の向上のため、県、関係団体、産業界等との連携を強化していく必要がある。